

令和3年 網走市議会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 会議録
令和3年4月28日(水曜日)

○日時 令和3年4月28日 午後4時15分開会

○場所 議場

○議件

1. 調査研究について

○出席委員(15名)

委員長	山田 庫司郎
副委員長	栗田 政男
委員	石垣 直樹
	小田部 照
	金兵 智則
	川原田 英世
	工藤 英治
	近藤 憲治
	澤谷 淳子
	立崎 聡一
	永本 浩子
	平賀 貴幸
	古田 純也
	松浦 敏司
	村椿 敏章

○欠席委員(0名)

○議長 井戸 達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(0名)

○説明者

○事務局職員

事務局 長	林 幸一
次 長	石井 公晶
総務議事係長	法師人 絵理
総務議事係	早 渕 由 樹

午後4時15分開会

○山田庫司郎委員長 大変御苦労さまです。

お疲れのこととは思いますが、もう少し頑張って

いただきたいというふうに思います。

ただいまから、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を開催させていただきます。

今日の議件でありますけれども、お手元に配付をさせていただいていますが、調査研究についてということでございます。

私、委員長からですね、口頭になりますけれども、経過も含めて少しお話をさせていただきたいというふうに思いますが、最終的には全委員のですね、御了承を得られたら、次のステップに進みたいというふうに思いますが、意見交換会をですね、ぜひ実施をしていきたいと。

この特別委員会でも、項目として関係者を呼ぶ中でですね、いろいろ意見を聞く中でということもありましたので、ぜひ意見交換会の形で実施をしていきたいというふうに委員長として考えています。

従いまして、今考えていますのは商工会議所、そして観光協会と、この二つの団体にですね、ぜひ当委員会に出席をいただいて、15分から30分程度になりますか、今までの市のコロナ対策に対する評価と、今後のそれぞれの立場での課題や必要な対策等について御意見が聞ければと、こんなふうに思っています。

その後、各委員の皆さんから御意見があれば、意見交換をさせていただきたいと。

ですから正式な委員会という形ではなくて、委員会主催の意見交換会という位置づけをですね、委員長としては、皆さんに御了承いただければさせていただきますというふうに思います。

それで、当初5月の13日か14日頃に開催をしたいという思いでありましたけれども、先ほどから議論になっています、このクラスターも含めてですね、網走に初めての大きな動きが出てきたということで、相手側の商工会議所や観光協会も非常にそういう意味では忙しい立場にきつとなっているのだろうというふうに思いますから、相手方と今日皆さんから御了承いただければ、正式に要請文を出させていただいて相手側とですね、話をさせていただく中で、日程について正副に任せていただいて、決めさせていただければと、こんなふうに思っています。

口頭の説明になりましたけれども、皆さんからこ

のことについて質疑なり御質問、御意見があればお伺いをしてですね、最終的にぜひこの意見交換会の実施に向けて流れをつくっていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いをしたいというふうに思います。

皆さんから御意見いただきたいと思います。

○小田部照委員 今御説明いただきましたが、この意見交換会の団体なのですが、商工会議所、観光協会と2団体になっていますが、今回クラスターが発生した飲食業組合の方たちですとか、中央商店街の組合の方々ですとか、実際に本当にこのクラスターの発生により、お客さんが本当にいないような状況ですので、実際生の声をこの議場で伝えていただいと、そういう団体の方々もいたほうがいいのではないかと私個人的には思いますが、どういったものなのか委員長にお尋ねいたします。

○山田庫司郎委員長 ほかにございますか。

○平賀貴幸委員 私は確認なのですが、先ほど委員長、正式にこの委員会に出席していただいと、おっしゃった後に、それとは別に意見交換会という言い方だったのでどっちなのかなと思いましたが。

委員会の中に出席してもらって、意見交換会をするのか、委員会ではなくて、意見交換会というのを別にするのか、ちょっとどっちの言い方もされていたものですから、どっちなのかというのを明らかにしていただきたいと思います。

○山田庫司郎委員長 小田部委員の回答をちょっと別にして今、平賀委員の確認でした。

確かに今思い返しますと、私から特別委員会に出席をいただいて意見交換会をすると冒頭言ったと思います。そういう意味で、今混乱させていますけれども、最後に言ったように、特別委員会が主権的な立場になって、委員会ではなくて意見交換会という位置づけで実施をしたいと、こういうふうに委員長として考えています。訂正をさせていただきます。

それと、小田部委員の今質問がありました。

正副でちょっと議論したときにもですね、今言われたように社交業飲食業組合もあるだろう、旅館組合、ホテルの関係の話も聞きたい、介護の関係はどうなのだろう、いろいろな組織団体もあるのですが、今回2つ選ばせていただいたのは、相手もありますからこう何と言われるかも一つありますけれども、商工会議所と、観光協会が大体頭になって出てきてくれば、ある程度情報の深さは、ちょっと私

失礼な言い方ですがわかりませんが、ある程度広範囲の部分で意見交換ができるかなと。

それでとりあえず2団体を今回で選ばせていただきまして、コロナが早く終わればもっと早くやっておけばよかったということになりますけれども、なかなかそうはならない状況も一つ考えますと、大変残念ですけれども、この後に今小田部委員から出たような団体ともですね、皆さんから今度御意見いただいて、あそこもここもやってみたいということになれば、また本特別委員会の中で検討を考えていきたいというふうに思います。

ほかにありますか。

○近藤憲治委員 基本的な考え方は委員長からお伺いしました。

網走商工会議所さんや、網走市観光協会さんというのは、いわゆるコロナ禍が発生した以降ですね、度々市には直接要望を上げている団体だというふうに認識しております。

例えば網走商工会議所さん、違いますね、観光協会さんだと、まさに今日の午前中の臨時会で審査を行われたインバウンド受入施設等の支援金給付事業、インバウンドの減少に大きな影響を受けているような事業者を支援してほしいという要望があつて、こういった施策が出てきたというふうに受け止めております。

ですので、この意見交換ですね、要望が出されて施策になっているというサイクルが既に現在ある中で意見交換をするという以上は、やはり具体的に何を明らかにしたいのかをもう少しきちんと示して相手方にお伝えをしないと、相手方も何を答えていいのか、既に要望もしているし、具体的な施策になっているのもあるのだけれども、何を答えたらいいいのかというところで、若干の戸惑いが生じるのではないかと懸念がございますので、意見交換内容のところに行き書かれていますけれども、もう少しですね、こちらからお越しく下さいとお願いする以上はこういうことを明らかにしたいのです、こういう情報があればお示しいただきたいのです、ということをきちんと精査してお伝えすべきだと思います。

ですので、そこは実施をすることについて、また実施の形態については異議はございませんが、実施に至るまでの間にそういった手順をきちんと踏まないとですね、なかなか深い意見の交換にはつながらないと思いますので、そこは委員長の御差配をお願いしたいところでございます。

○山田庫司郎委員長 ほかございますか。

○工藤英治委員 第一に感染症問題ですよ。

その中で商工会議所、観光協会と意見交換会、三密の形からいっても、今コロナが町で発生したことも考えて合わせても、大勢の人間でね、意見交換会をするっていうのは時期的に少し躊躇せざるを得ないと思うのですよ。

そして意見交換会等をするとしたらですね、やはり議員から何人か、正副委員長含めて、そして意見、向こうからも恐らく何人かしか出て来られないと思うのですよ。

そして場所的にもどこをどういうふうな形で設定するのか、その辺鑑み合わせて、意見交換をある一定の人間でやった後にね、報告そして特別委員会のね、進行を進めるといような形をとったほうがいいのではないかと。

これだけの人間でね、セットするというのは非常に今、時期的に半年も過ぎた後でね、やるような結果になりかねないかと思うので、その辺ちょっと考えたほうがいいと思います。

○山田庫司郎委員長 ちょっと私の説明不足があったかもしれません。

例えば商工会議所とやるときには、いろいろ商工会議所ですね、議員の皆さんと意見交換会や交流会もやっていますから、ああいう規模ではなくて、商工会議所の会頭に要請をさせていただいて、例えば会頭が1人代表で来ていただくか、専務が来るかわかりませんが、その方から商工会議所としての意見をちょっといただいて、意見交換をさせていただくと。

観光協会も、専務さんか会長さんがぜひ来ていただきたいという要請文にしていきたいというふうに思っていますので、工藤委員から出たように、今特別委員会でこれだけ集まっていますので、もし商工会議所、観光協会から多くて2人位としてもどちらかに理事者もおられませんから、委員だけの意見交換会になりますので心配ないとは言えませんが、そんな大人数とはならないような気がしております。

その辺、観光協会も役員の方々が、副会長さんとか、誰々が来てみんなとやるっていうこととは、私としては考えておりませんので、ほかにも委員から意見が出ませんから、近藤委員から出たので一問一答みたく委員長が答えるべきではないのかもしれませんが、委員長としては、確かに近藤さんの考え

方も一つあるし私も考えました。

こちらからテーマを絞ってこういう形で話してほしいというのも、一つありだなというふうに私も思いましたけれども、逆にお願ひする立場ですから、私は自由にこの視点を大きめに持っていて、自由にその立場でお話いただければというふうにも思っている部分もあるのですよ。

だからこういうことと、こういうことと、こういう形で頼みますというのも一つありですけども、私は逆に言うと限定しちゃうのではないかと、こういうこと話したいということをやめなきゃならない場合もありうるのではないかなというふうにちょっと思うのですが、皆さんから意見いただきたいと思ひます。

私が決めることでは最後ありません。

副委員長が手を挙げるのもあれだけれども、はい。

○栗田政男委員 先ほど委員会の中では大変いい話が出たと思ひます。傍聴して思ひしたのは、非常に今この感染拡大が本当に見通せないというか、どうなっているのかなっていうのが黙って聞いていたのですが、答弁だけを聞いた範囲では全く市のほうでは把握してないということだったのですよ。

飲食店のクラスターと、学校関係とのクラスターとの関連性も追えていないということなので、非常に心配しています。

別ルートで入っていると大変な拡大が予想されますし、その中でこの委員会はやはり非常に重要な役割を担っているわけですから、連休であろうが、場合によっては連休中であっても、必要があれば緊急事態があれば招集をしてしっかりと対応に努めなければならないのかなっていうような気がしました。

非常に聞いていて、不安がどんどんどんどん大きくなってくるような答弁をいただいて、心配をしております。

本当に経路がわからないというのは非常に大変な話なので、本当にわかっていて発表できない立場にいるのであれば、まだ安心なのですが、答弁を聞いている範囲では、全くそれに対しては認識は持っていない情報をという言い方をしていたので、それで本当にいいのかなという不安も含めて、この委員会でしっかりと対応していただきたいと思ひますし、商工会議所の中には飲食部会等がございます、多くの飲食店の方々がそれに入っています。

そういう意味からすると、そういう意見も拾える

と思いますし、主に委員長の考えている商工会、観光協会というのは商工関連に関連するような、経済対策が大きな意味合いなのかなと思います。

それとは別に、今発生しているクラスターも含めて変異ウイルスに対する当市の予防、いろいろなことをやっぱりこの委員会ともしっかりと詰めながら意見交換しなくてはいけないし、非常に時間を置いている暇もないのかなというように私は危機感を持って考えております。

その辺の配慮も含めて、もちろん僕も副委員長ですから委員長と一緒にその辺を詰めたと思います。

○山田庫司郎委員長 貴重な意見もいただきましたけれども、相手方に対するその対応ですね、近藤委員から出たようにどういう対応がいいのかなというふうにちょっと委員長としても、考えているところがございます。

説明もいたしましたけれども、委員の皆さんから御意見、ぜひ率直な意見をいただきたい。

○立崎聡一委員 いろいろな委員から御意見、いろいろなお話があったところなのですが、委員長、意見交換ということでよろしいですね、まずね。意見交換ということで15分か30分と言っていたのですが、ちょっと余りにも僕もちょっとこれを見ていて、意見交換というふうに話されたときに、向こうからも提案してきているものもありますし、それから会議所、それから観光協会等に市のほうからお願いして実施されているものとかもあります、事業とか。

そういった意味合いからいきますと、ある程度的を絞ったほうがいいのではないかなと。

特にコロナ対策特別委員会ということで、もうコロナということをやっているのですから、こちら側としては、ある程度やっぱり絞っていったほうがいいのではないかなというふうに僕は思います。

ただ、ざっくばらんにというのは、どうなのでしょうかっていうふうに、僕はちょっと思いました。

○山田庫司郎委員長 例えばどのようなことですか。

○立崎聡一委員 例えば。

○山田庫司郎委員長 コロナの関係でやるのですよ。例えば頼むとして、どういう例えばの話であれば。

○立崎聡一委員 頼むとしたらって、僕は特段頼む

必要ないのかなというふうに思ったのですよ。

○山田庫司郎委員長 やらなくていいということなら、そういう発言してください。

○立崎聡一委員 僕はやる必要性があまり感じられないのですよね。

というのは、いろいろ会議所の立場、それから観光協会の立場で市にもお願いしていることはたくさんあると思うのですが、具体化されているものは、幾つかしかないと思います。

あとこちら側からは、逆にお願いして動いていただいている部分というのがあると思うのですよ。

例えば、持続化給付金ですとか、窓口になってくださいですとか、今日もありましたけれども、宿泊…。

(発言あり)

○立崎聡一委員 いやいや、国だけれども、窓口としてっていうのがあるので、そこはどうなのだろうなというふうに、僕はざっくり思いました。

○山田庫司郎委員長 ごめんなさいね、意見交換会は仮にやるとしてよしとしても、商工会議所と観光協会は求めなくていいのではないかという話なのか、意見交換会をやる必要がないということなのか。団体を呼んで、特別委員会としていろいろやっていくことも、このテーマの中の一つになっていきますから、そこはまず思い起こしていただいて発言いただきたいと思いますけれども。

○立崎聡一委員 いいですか。

ここの団体さんはどうなのかなというふうに正直、商工会議所、観光協会とやる必要性は先ほど来いろいろな各団体、違う団体もありますけれども、商工会議所ですと、確かに取りまとめているのかもしれないですが、なかなか向こうも厳しいのかな、どういう意見交換になるのかなというものは、正直僕は思いました。

○山田庫司郎委員長 意見交換ですから、向こうからお話しいただいて、こっちからも聞きたいこと聞いて、答えられないことはそれでもしょうがないと思いますけれども、そういう意味での意見交換会ですから。

商工会議所と観光協会は、ここはちょっと選択しないほうがいいのではないかという意見もございました。

ほかちょっと意見いただきたいと思います。

意見交換会はいいのですか、立崎さん。

○立崎聡一委員 いいですか。意見交換、やり方と

して今クラスターが発生したということも考えれば、工藤委員がおっしゃったように、やる部分については、大人数でやるというのはちょっとどうかなというふうに思うのですけれども、意見交換、これから先まだ長いと思うので、このコロナに関して言えば、今今なのかという。

○山田庫司郎委員長 ちょっとはっきりしていただきたいのですが、意見交換会はやるべきだけでも。

○立崎聡一委員 やる必要はあると思うのですけれども。

○山田庫司郎委員長 意見交換会そのものはもうやる必要がないという意見なのか、委員長としてははっきり聞きたいです。

○立崎聡一委員 やる必要はあるとは思いますが、今今すぐ必要なのですかっていうふうに思います。今の時期でいいのですかっていう。

○山田庫司郎委員長 そういう意味ね。

だから、まあいいです。

次の意見求めましょう。

○澤谷淳子委員 すいません、この意見交換会のことなのですけれども、本当に基本的なことから聞きたいのですけれども、お呼びして来ていただいて、意見交換して、結局そのコロナの対策をそこでこんなことがいいですねっていうのをまとめて、委員会としてまとめるってところが目標なのですか。

○山田庫司郎委員長 皆さんまず原点に立ち返っていただきたいのは、この特別委員会を設置したときに何をしましょうかという方向を決めました。

そのときに、できれば組織や団体から来ていただいたり、講師を呼んだり、いろいろな形で外からも御意見をいただく機会をつくりましょうということも方向の中に一つ入っているのです。

その中で今回、特別委員会としてやる手もありましたけれども、逆に、フリーにいろいろな意見交換ができるのなら、意見交換という形でやったほうが委員長としてはいいのではないかとということで、やらせていただきたいという提案なのです。

それで、澤谷委員から今質問が出たように、その中でやり取りしてまとめて、例えば商工会議所、観光協会からこういう要望がありました。

委員会としてそれを受けて、これは要望しますか、これはどうしますかっていう意見に最後はなっていくのかは私も今わかりません。

最後は何らかの形でまとめていくことになると思

いますけれども、現状がこういうことで、こういうことを議会にもお願いしたいとくるのか、それは私もわかりませんが、意見交換会中、何かやっぱり課題が見えてくればそこは特別委員会として、私は整理していくべきかなとは思っていますけれどもね。

そこで何だかんだまとめて理事者側に特別委員会として要望していくのだと、そのために意見交換会をするのだというふうには委員長としてはまだ思っていない。

現状の把握とやっぱりこういう問題は持っているのだなということも、それぞれの議員さんもそれぞれの立場で勉強されたりお聞きになっていることがあると思いますけれども、やっぱり全員で聞くことによって、違う道もできるのかなというふうにちょっと思っていますから、何だかんだ要望を聞いてまとめて、特別委員会として理事者とこれを提案してやれていう意味では思っていないので、そこをもし御理解いただければと思います。

ちょっと、まず意見交換会も今やる必要はないのではないかとまず意見が出てきましたからそこから整理していったほうがいいかなとちょっと思うのですけれども。

○川原田英世委員 すいません、まず必要性というところの前に意見交換会ってあるから、多分立崎委員もクエスチョンマークがついていると思うのですよね。

あくまでもまずはヒアリングして、そのことについて深めていく、そのあとにちょっとした意見を交換するってことで、僕は捉えているのですけれども。なので商工会議所も月に1回、各事業者のアンケートをとって現在の業績とか月に1回ずつまとめていますから、基本的に僕らは社交業だとか宿泊業が影響を受けている、ダメージを受けているとは理解しているのですけれども、例えば水産業の小売業界だとか、それに付随する産業はどこまで影響を受けているのかって全く理解してない。

商工会議所じゃなくて、信金では、44%影響を受けていると地域のデータが出ましたけれども、その深掘りも何もわからないので、商工会議所はそのデータを全部持っていますから、そういうところから大きく影響を受けている、80%減少している業界、40%減少している業界とか、それは何でそうになっているのかも含めて、一度ヒアリングさせてもらった上で、今後どういった支援策が必要になってく

るだろうかっていう想定を皆さんで共有しておくという体なのだと思います。

観光協会も民泊がどれだけ影響を受けているのか、大きな何百人も入れるホテルがどれだけ影響を受けているのか、それぞれで全然状況が違いますので、そこを観光協会から、ちょっと教えてもらうという形でヒアリングをさせてもらった上で、今後、より困っているところにピンポイントにどういう施策があるのだろうかということ意見を交換する。

だから、まずはヒアリングをさせてもらって、学ばせてもらって、そこで一緒に考える機会をまずつくろうという意味合いだと僕は思っているので、ざっくりボーンと意見交換ですと言って前に突き合わせても何も出てこないと思うのですけれども、そうではないという僕は認識なのです。そういうことで、委員長よかったのですよね。

○山田庫司郎委員長 ちょっと私の雰囲気を含めて、そういうふうにつまみえられなかったのだったら大変申し訳なく思いますけれども、軽くとは思いますが、本当にヒアリングなんです。

皆さんから意見を聞いてそして私たちも質問して、ちょっとやり取りしましょうと。そういうことなんですよ。

○立崎聡一委員 よろしいですか。

今、川原田委員のほうから説明を受けまして、初めて意見交換の主たるところを理解させていただきました。

先ほど来、委員長の話でいきますと、意見交換、意見交換と本当に言っているのですが、申し訳ないですけども、本当に必要ないのではないかなと思うぐらい、何を聞くのかっていうのが全くわからなかったのだからその辺は理解させていただきました。

○山田庫司郎委員長 最終的には意見交換するのだよ。

ちょっとニュアンスの違いと簡単には片づけませんけれども、私の説明不足だったら大変申し訳なく思います。

無駄な時間を過ごさせてしまったと。

大変申し訳ありません。

ですからちょっと雰囲気というか、それをちょっとお話しすればいいのかなと思うのですが、来ていただいて、確かに近藤委員から出たようにこういうことと、こういうことと、こういうことを聞きたいのだからということの課題を出すのも一つだと思いますが、今大変な状況がある、そこをまずお話しした

だいて、どのようなこれからやってほしい課題とか、対策っていうのはどのようなものがあるのだったということも含めて、ちょっとフリーに意見もらって、そこで私どもからそんなことはどうなの、ここはどういうふうになっているのという話を、何十分かでも意見交換させていただければというイメージなのですよね。だから、そんなにがっちり構えてあだこうだ…。

〔「委員長」と呼ぶ者あり〕

○工藤英治委員 もう少し正副委員長とかそこら辺で煮詰めてから持ってこないと。

○山田庫司郎委員長 煮詰めたつもりなのだけれども…。

○工藤英治委員 それこそ議員の意見交換をやっているみたい、もう少し詰めてほしい。

○山田庫司郎委員長 詰めたつもりで御提案させていただきましたけれども、今御指摘ありました。ただ、すぐ連休明けに…。

○平賀貴幸委員 おっしゃりたいことは十分わかったのですけれども、それぞれの意見がいろいろあるのですけれども、最終的には実施するなという意見ではなくてなっていますから、あとはいろいろ出た意見を含めて正副で煮詰めた状態で、意見交換会の呼びかけをして、ヒアリング、言い方は別として呼びかけていただいて、相手が応じてくださったらはじめてできることですから、呼びかけた段階で相手に断られたらできないですから、そこを煮詰めた状態で呼びかけていただいて、応じていただけたらしっかり対応するという仕切りでもういいのじゃないですか。

○山田庫司郎委員長 委員長のお願いです。

工藤委員からも言われました。

副委員長含めて、煮詰めてきたつもりですが、もう少しきちんと精査をさせていただきます。

ただもう1回この前に一歩進むために、承認いただかなかったら、前に進めないものですから、意見交換会という表現がいいかどうかまで、遡る話になっちゃいますけれども、ヒアリングがいいのか、その辺含めて、そういうことをですね、この特別委員会で団体に要請してきていただいて、そういう形の取組をしたいということ、もし御了承いただければ正副でちょっとまとめながら、どこかでまた皆さんに会派代表者会議か、会派にお持ちして、理解をいただくことをくぐりながらやっていかなきゃならないと思いますが、特別委員会は前期、後期なくて

ずっと後期も続きます。

体制はどういうふうになるかわかる要素もありますけれども、ですからコロナが終わるまではありますので、ぜひ6月以降でやってもいいということも含めてですが、そうなったらもう1回、正副に一任いただくか、もう1回、正副で精査したやつを特別委員会の皆さんの前で、もう1回御理解いただく場をつくったほうがいいですかね。それも一任。

〔「一任」と呼ぶ者あり〕

そうしましたら、副委員長と委員長に一任いただきましたので、進め方含めて、どういうふうにするかは、正副にお任せをいただきたいというふうに思います。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのほかございますか。

○近藤憲治委員 私から、この委員会でぜひ議論の俎上に上げていただきたいテーマについて御提案をさせていただきます。

先ほど文教民生委員会所管事務調査の中でもお話をさせていただきましたが、今回のクラスター発生以降特にですがSNS上、またはインターネットの掲示板での人権侵害につながる可能性が高い、またはほぼ人権侵害ではないかと思えるような書き込み等、またリアルな町場の会話の中でもですね、流言飛語が非常に増えているという状況も非常に憂慮をしております。

ですので、そういった市民の皆さんへの意識啓発も含めてになるかと思いますが、人権侵害を予防するようですね、条例またはその取り決めの必要性の有無について、この特別委員会で議論をさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

○山田庫司郎議長 今近藤委員から出ました。

先ほどの委員会でも発言されていましたが、逆に言うと、ああいう課題は特別委員会の議論の課題かなと委員長として思いますので、今後の課題の一つにですね、委員長としては上げておくべきかなというふうに思います。それでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ほかに。

○川原田英世委員 今の点と関連して同じようなことなのですが、いくら情報に気をつけていても学校等でこういうふうな感染者が出たらですね、自然と子供たちは誰かと特定していったりですと

か、それがいじめにつながっていくという可能性が非常に高いと思います。

それを避けるという意味でも、人権の問題含めてですね、議論をして何か我々で対策できることはないのかということをやっていく必要があるのかなというふうに思います。

なので、その点もぜひコールする中身に入れてほしいということとですね、あと所管事務調査で文教民生委員会で行ったことを今後どのように扱っていくのかということで、委員会の中では、この特別委員会で今後はやったほうがいいのではないのかという意見が出ていました。

私もそれに賛成です。

その上で例えば今回学校閉鎖で給食の事業者への補償だとか、いろいろ細かい部分でも理事者と議論をしていく必要も出てくるのだというふうに思いますので、そういった点も含めて、先ほどは委員長同士で話をしますということでしたけれども、委員会としても考えを出させていただきたいなというふうに思います。

○山田庫司郎委員長 今のクラスター含めてですし、今後も同じようなことがないことを願いたいわけですが、何があるかわからないというふうに考えれば、こういう課題については特別委員会がやはり連合審査というものになれば、特別委員会でやったほうがよくなりますから、先ほども議論あったように総務経済にも関わる部分も内容的にあれば、特別委員会でやるのがやっぱり流れとしては一番いいのかもしれませんが、そういうことで両所管委員会の正副委員長とちょっと特別委員会の正副と、1回話し合う機会をつくりたいというふうに思います。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

私の勝手ですが、両委員長の了解を得ていませんが。

○平賀貴幸委員 先ほどの文教民生委員会でも少し申し上げましたが、北海道の情報開示の在り方にはやっぱり疑問があります。

調べてみたら、県によっては、市町村単位でちゃんと公表しているところも、既にたくさんあるのですよね。

北海道対応のルールがそうなっているからできていないだけで、法的に駄目だということではないのですよ。

そういうことを考えると、やはり網走市議会とし

てこの特別委員会の総意になれば一番いいと思っ
ていますけれども、北海道の対応を改めようとい
うことを、網走市議会としてちゃんと行ってい
くべきだと思うのですよ。

そのこともきちんと必要な調査をした上でと
なるのかもしれませんが、意見を何らかの意見書
なのかどうかやり方は考えなければいけません
けれども、言っていないと、いつまでもらちが
明かないのだと思うのですよね。

全国の都道府県で同じ対応だっているのなら
仕方ないですけども、違うのでやっぱり網走
市民の要望はきちんと市町村単位で感染を公
表してくれということですから、そこを實現
できるように議会として動くべきだと思うの
で、その辺ぜひ取り組んでいただきたいと思
います。

○山田庫司郎委員長 一つの要望というか、あれ
として受け止めます。

ただ私もまだ勉強していませんので、そうい
う違いがあるということもちょっと認識をして
いませんので、平賀委員から今出たこと含め
てですね、この特別委員会での、やっぱり議
論で、もしまとまればということに一つなる
のだというふうに思いますが、このことも一
つの課題として、早急にやっぱりこれは議
論していくべき課題なのかもしれませんね、
二つとも。先ほどの意見と。

ほかにありますか。

それではちょっと私の説明と、冒頭のやっ
ぱり入り方も含めて、問題があったのかもし
れません。

そういう意味で皆さんには、本当に無駄な
時間を過ごさせたのかもしれませんが、お詫
びを申し上げますが、先ほど言ったように、
後段2点いただいたことも含めて、正副で
その意見交換会という表現がいいかどうか
も含めて、正副でちょっと議論させてい
ただきますので、御理解をいただきたい
と思います。

以上で特別委員会を終わりたいと思いま
すがよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

御苦労さまです。ありがとうございました。

午後4時52分閉会